

トラック業界における生産性向上の好事例の類型

1. 複数の運送事業者の連携	(1)中継輸送のネットワークをつくって長距離輸送を防止	長距離輸送に必要な長時間の休憩が不要となり実働率向上
	(2)複数の運送事業者によるシェイクハンド輸送（運転手交替・積み替えなしの共同運送）	長距離輸送に必要な長時間の休憩が不要となり実働率向上
2. 複数（異業種・同業種）の荷主による共同配送	(1)他社荷と混載	積載率の向上
	(2)他社荷を帰荷に	積載率の向上
	(3)ラウンド輸送（2社のA社→B社片荷、B社→C社片荷を、1社でA社→B社→C社ラウンド輸送に）	積載率の向上
	(4)複数社で共同配送するための物流拠点の再編・配送ネットワークの再構築	積載率の向上
3. 3PLによる共同集荷・共同倉庫利用・共同配送		物流全体の効率化
4. システム化	(1)入庫時間のWEB予約システム	積み込み・積み出し作業が入庫順でなくなるため待機時間が減少
	(2)ICTによる運行管理（配車、トラック動態管理）	配車の効率化による実車率向上
	(3)納品伝票や受領印の電子化	納品関係の事務処理の効率化
	(4)複数の荷主・運送事業者間の運送需給マッチングWebシステム（構想）	帰荷の確保、混載をはじめ、実働率・積載率向上、ドライバー拘束時間の最小化
5. 積み込み・積み出し作業の合理化・効率化	(1)パレットによる機械荷役化	積み込み・積み出しが効率化し、ドライバー拘束時間が低減
	(2)パレットプールシステム（自動倉庫で用いるパレットを複数社で共同利用）の採用	一貫したパレット輸送が可能となりパレット積替え作業の時間や負担が軽減
	(3)荷主の拠点に荷物の積み出し専門スタッフを配置	積み込み・積み出しが効率化し、ドライバー拘束時間が低減
	(4)積み込み・配達・容器回収・容器返却などの一連の業務工程と分担の見直し	積み込み・積み出しが効率化し、ドライバー拘束時間が低減
	(5)積み込み・積み出しの効率性に配慮した発荷主側の荷物の積み方の工夫	積み込み・積み出しが効率化し、ドライバー拘束時間が低減
6. 高速道路活用	(1)走行時間短縮	ドライバー運転時間が低減